

# 女子リーグ最多42回目の優勝

## 春 3連覇

### 殊勲賞に大活躍の庄司

春季関東学生卓球リーグ戦II(5月6~22日、所沢市民体育館ほか)

女子は6勝1敗で専大と並んだが、得失点差で

上回りの、3年連続の春季リーグ優勝を果たした。これでリーグ優勝記録は最多の42回となった。個人では、殊勲賞にシングルス全勝の庄司有貴(文大)・青森山田高が、優秀選手賞に安藤みなみ(商2・慶誠高)が、最優秀ペア賞に鈴木李茄(商4・青森山田高)・安藤ペアが選出された。専大は初戦の淑徳大に4-1で勝利すると、日体大、東京富士大にも庄司らの活躍で連勝した。迎えた昨秋の覇者・早大との一戦は、エースの鈴木・安藤ペアがストリート勝ちで一気に突き放す。しかし簡単には勝

る自信をのぞかせた。男子は2位

秋春連覇を目指した男子は5勝2敗で惜しくも2位。田添健汰(商3・希

### 男子 単複でV

関東学生卓球新人選手権II(5月27、28日、流山市・キックマンアリーナ)

男子シングルスで及川が優勝、三部が準優勝。男子ダブルスで及川・三部ペアが優勝、女子ダブルスで内田有美(人間科学1・日南学園高)・椎崎楓花(経営1・粉河高)が準優勝を果たした。



三部(左)と及川

望が丘高)が敢闘賞、三部航平(商1・青森山田高)が優秀選手賞と最優秀新人賞、及川瑞基(同)が最優秀新人賞に選ばれた。

秋季リーグ戦では男女ともに頂点を目指してほしい。(木村健人・商3)

第3セットを12-10で制した三部がリード。第4セットも6-2と突き放したが、ここから及川が逆転し、セットカウント2-2の振り出しに戻す。最終セットでも及川の勢いは止まらず決着がついた。及川は「3部との試合は半年前に0-3で敗れて以来。練習でもなかなか勝てなかったので、久々に勝ててよかったと喜びを語った。(安藤貴大・商3)写真も

### 織田が連覇達成

リカーブ女子の部



的を狙う織田(左)

全日本フィールドアーチェリー選手権II(5月14、15日、静岡県掛川市・ヤマハリゾートつまつま恋) リカーブ女子の部で織田真理子(文3・大宮開成高)が連覇を達成。同男子の部で遠藤良祐(法4・国士館高)が4位となった。フィールドアーチェリーは、リカーブ、ペアボウ、コンパウンドと「弓」の種類によって部

門が分かれ、山や野原に設置された的に矢を放ち、総合得点を競う。さまざまな地形や角度から矢を放つため、状況に応じた技術が求められる。予選5位からの逆転Vに、織田は「連覇できるとは思っていませんでした。驚きとうれしさが混じった感じです」。フィールドとは違い、平らなグラウンドで行われた全日本学生東日本大会(5月28、29日)でも織田は3位に。「初日を1位で終えたことで順位を意識し、力を発揮できなかった。でも、この結果は自信につながる。今後も入賞できるように頑張りたい」と意気込んだ。年々存在感を増してきている織田。今後の大会に注目だ。(飯塚恒成・文3)

# 専大スポーツ

No. 363

大会結果 予定は体育会ホームページ「専大ホームページ」からアクセスしてご確認ください。専大スポーツ編集部 web(http://sensupo.web.fc2.com) 大会結果を配信しています。

春季リーグを制した女子II撮影・安藤貴大(商3)



### 中村(フリー57kg)が初優勝



全日本選抜レスリング選手権II(5月27、29日、代々木第二体育館) フリースタイル57kg級で中村倫也主将(商4・花咲徳栄高)が大会3連覇のかかった高橋侑希(ALSOK)を破り、初優勝を果たした。中村主将は全試合、無失点で2分以内にテクニカルフォール勝ち。アンクルホールドを独自にアレンジした得意技の「リソクルホールド」で他を圧倒した。

決勝でリソクルホールドを決める中村(右)

5位に終わる 東日本学生レスリングリーグ戦II(5月11、13日、駒沢体育館) グループリーグで2位となった専大は、5-8位リーグ戦で明大、拓大、国士大に連勝。昨年と同じ5位に終わった。

山本が準優勝 女子、辻本も 関東学生馬術選手権(5月20、22日、JRA馬事公苑) 関東学生選手権で山本開智(経営3・つくば開成高)が準優勝、近藤直人(経営2・浦河高)が3位、女子選手権で辻本芽以(商1・クラーク記



障害を跳び越える山本・白光号

だったと一点差をつけられた決勝戦を振り返り、厳しい表情を見せた。次の目標は全日本学生。課題を克服し、優勝を目指す。辻本は「決勝に進めたことはよかったし驚いたが、勝ちたかった。経験を積んで、全日本学生でも良い結果を残したい」と話した。(三嶋球里衣・経営3)写真も